

活動紹介

= 作ったよ、クリスマスリース =

街がクリスマスムードで盛り上がっていた12月19日(土)、公園のレクチャールームで恒例の「クリスマスリースを作ろう」という行事を開催しました。

緑色のヒノキ、ナギ、ヒイラギ、赤色のツルウメモドキ、サルトリイバラなどのクリスマスカラーを基調に、ネズミモチの実、マツボックリなど会員が集めてきた自然の素材を飾り付けて、思い思いの豪華なリースが出来上がりました。

10時からと13時半からの2回で約60名の参加がありました。子どもだけでなく大人の方も、それぞれこだわりのリース作りを楽しんでいました。



= 一般対応チーム、気付きました（**） =

一般対応チームの面々が先日呟きあっていた。「例年なら2月に入って聞かれるうぐいすの囃り（ホーホケキョ♪）が年末くらいから聞こえたんよねえ。年が明けて、寒くなっても確認できたから空耳ではないはず。どうしたことじゃろうか？」

葦の会創立以来、一般対応チームは黙々と自学に励んできた。自ら歩き、図鑑を調べ、レンジャーの知識を吸収しながら公園で営まれる自然の循環をその五感に感じ取ってきた。そのメンバーたちが気づいたささやかな異変。今年、一般対応チームはさらにグレードアップかも？

= 冬場の手作業 =

1、2月は会主催の大きな行事がなく一年で一番ゆったりとした時期である。しかし冬眠しているわけではない。どのチームも次年度の活動に向けての準備に取り掛かっている。

ショートプログラムチームでは、早くも「春まつり（4月29日開催予定）」のイベント用に新しく考案された葉の製作に励んでいる。会員が集めていた使用済み切手をプリペイドカード大にラミネート加工しリボンをつける。使用済みの古切手が見た目も美しく丈夫な葉に変身する。切手と台紙との色の組み合わせ、裏側の意匠などと細々と気配りしながら製作を進める。時にはお菓子をつまんで口と手を動かしながらの楽しい作業時間である。たくさん作って秋の「ふれあいまつり」にも使おうと話している。

